

新中期経営計画(MBP20)

～Global Power-Solution Company～

2015年1月29日
田淵電機株式会社
(証券コード 6624)

(MBP:Mid-term Business Plan)

基本戦略

前中期経営計画の基本戦略“SHIFT THE POWER”を継承し発展させます。

Global Power-Solution Company

グローバル・パワーソリューション・カンパニー

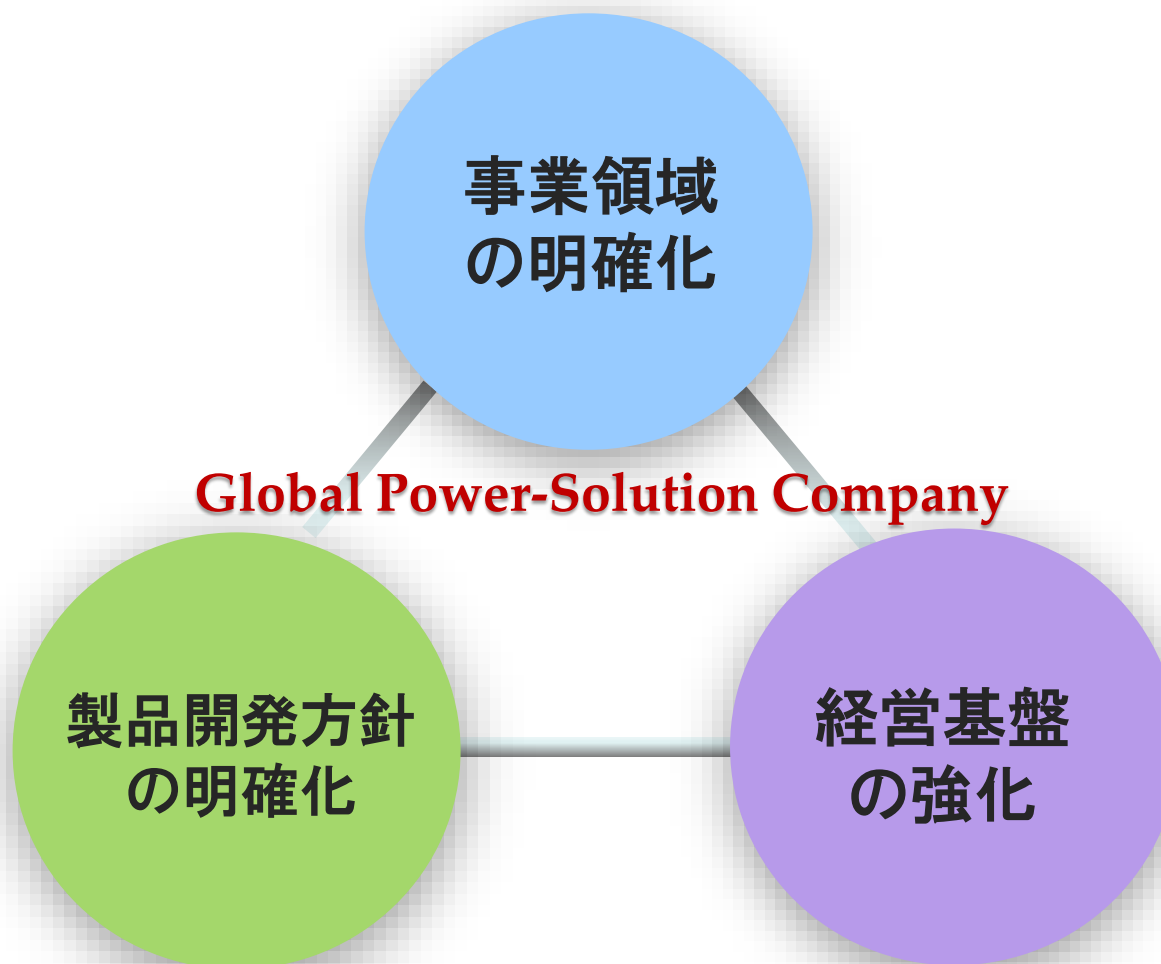
本中期経営計画においてもミッション経営を継続し、
企業目的の実現に向かって、全社をあげて取り組んで参ります。

企業目的(ミッション)

田淵電機グループの使命は
未来に誇るコアテクノロジーを活かし、
地球環境にやさしい『エネルギー先進企業』として
広く社会に貢献することにあります。

基本戦略

Global Power-Solution Companyを目指して3つのアクションプランを実行します。



個別戦略(1) 事業領域の明確化

「特徴あるデバイスとひと味違うパワーソリューション・プロダクツ」を4つの分野に展開します。

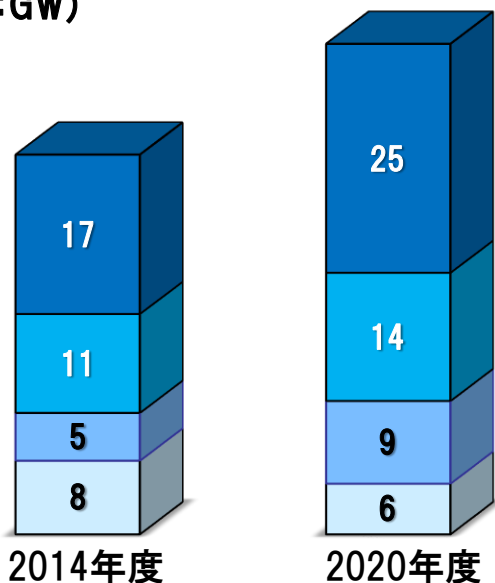


エネルギー分野

日本市場は産業用を中心としてピークアウトをむかえるものの北米を中心に世界市場は成長が続き、蓄電池は国内外ともに大きな成長が見込まれます。

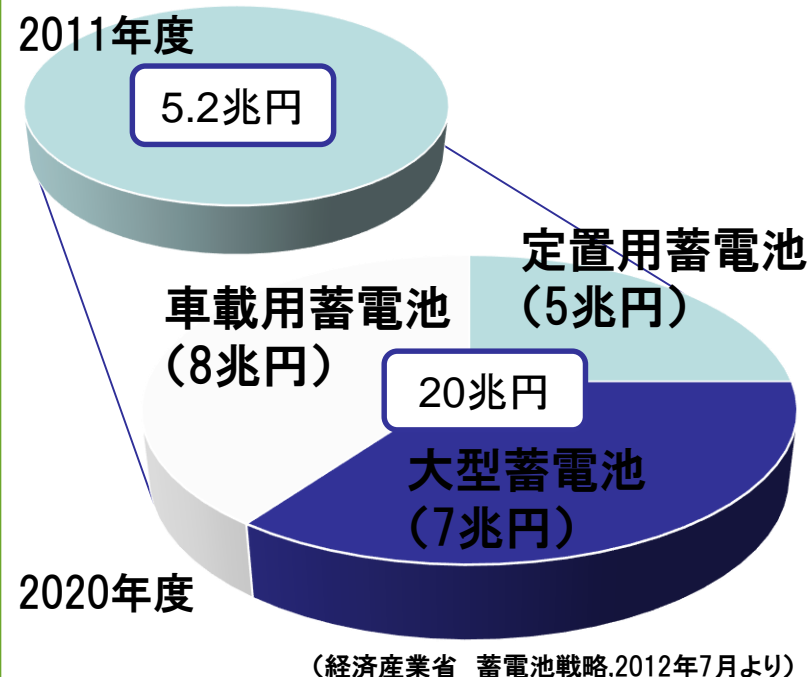
太陽光発電パワーコンディショナ市場

(単位:GW)



□日本 □北米 □EMEA □アジア他
(富士経済・IEA・EPIA・JPEA資料より当社作成)

蓄電池市場



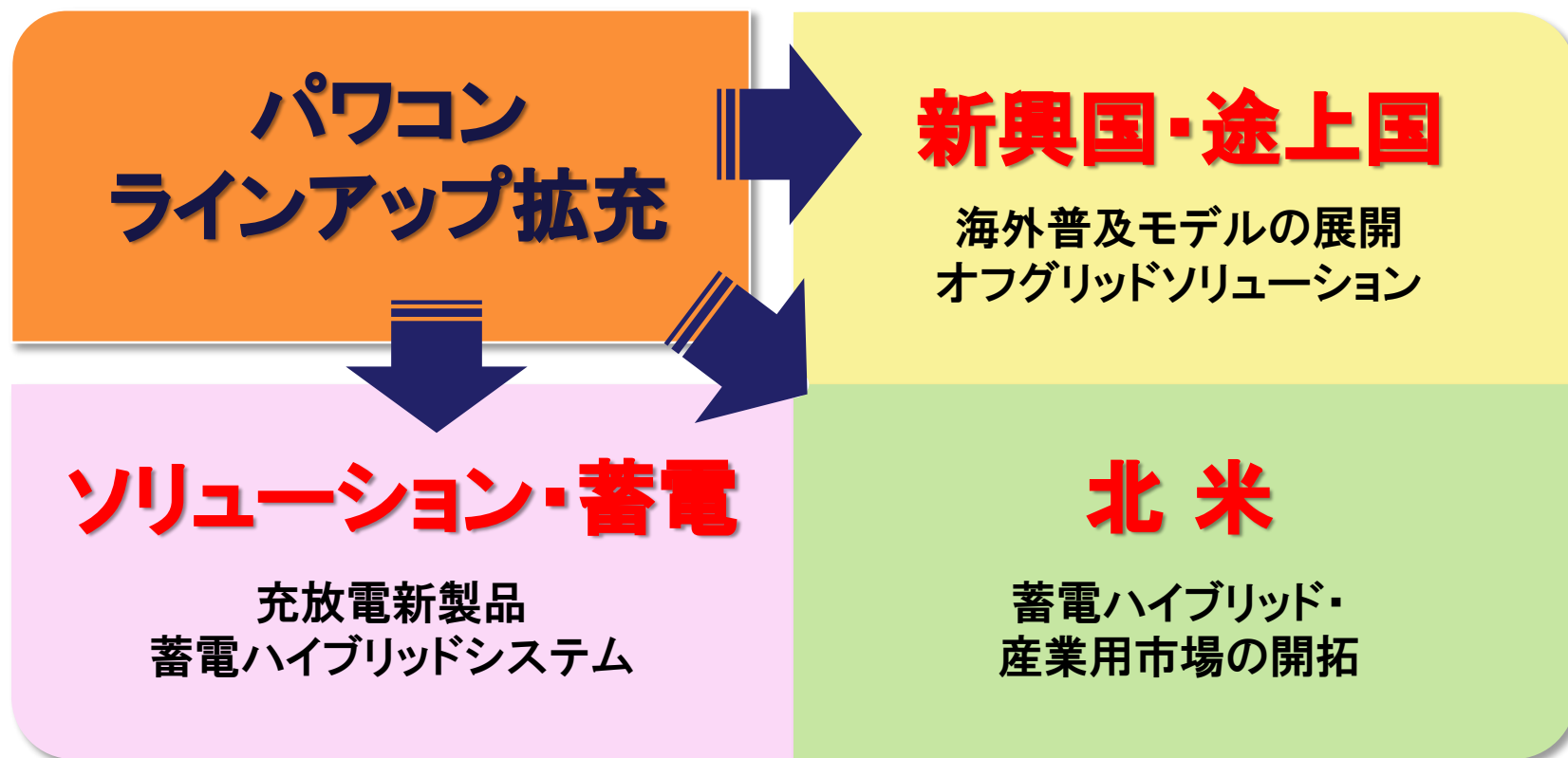
(経済産業省 蓄電池戦略,2012年7月より)

エネルギー分野

太陽光発電用パワーコンディショナの市場展開

国内市場

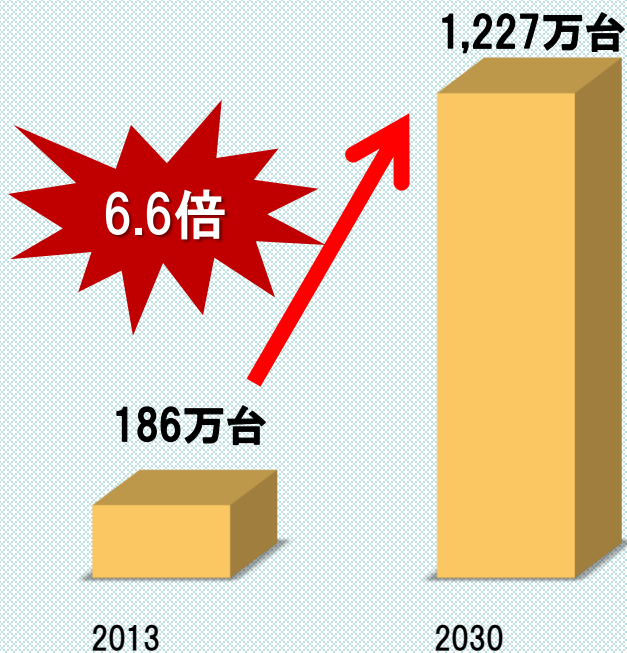
海外市場



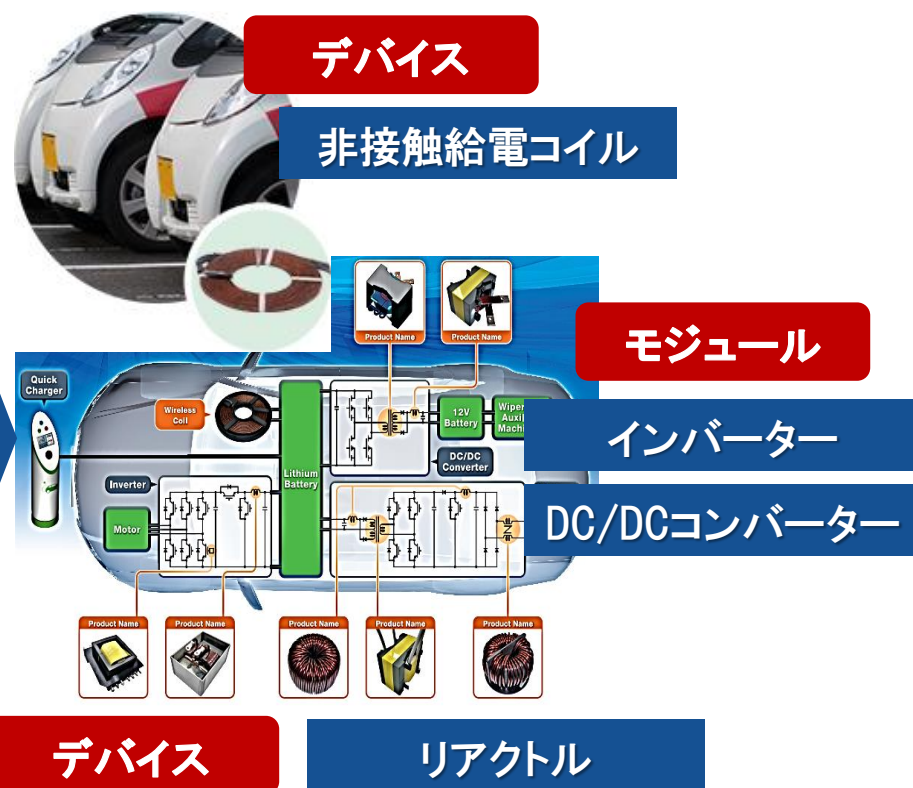
輸送機器分野

ますます拡大する電気自動車(EV・PHV・HV)市場に、超高周波電源技術を応用した高性能・高品質のデバイス&モジュールで進出します。

電気自動車の世界市場予測



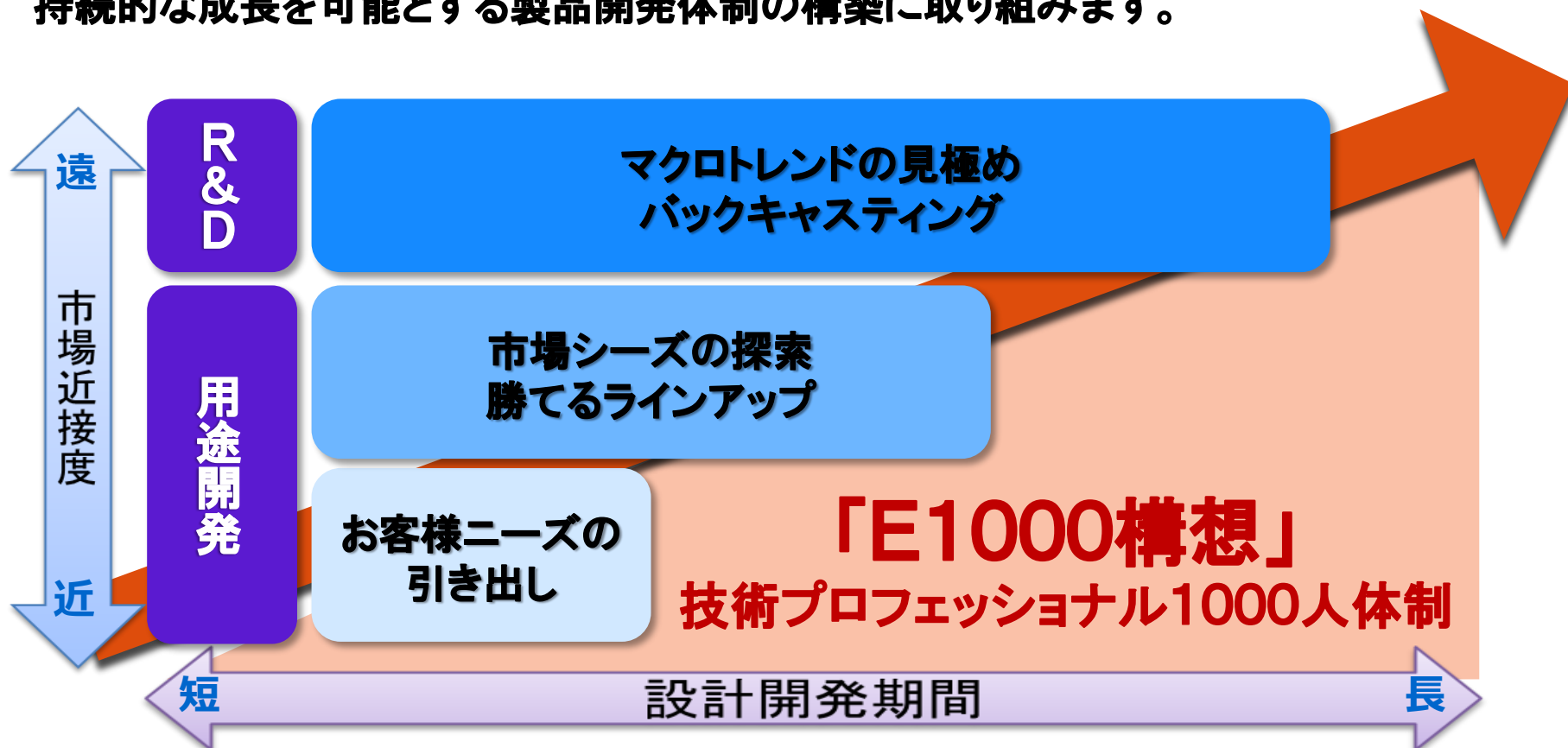
(富士経済『2014年版 HEV、EV関連市場徹底分析調査』より)



個別戦略(2) 製品開発方針の明確化

3層マーケティング体制

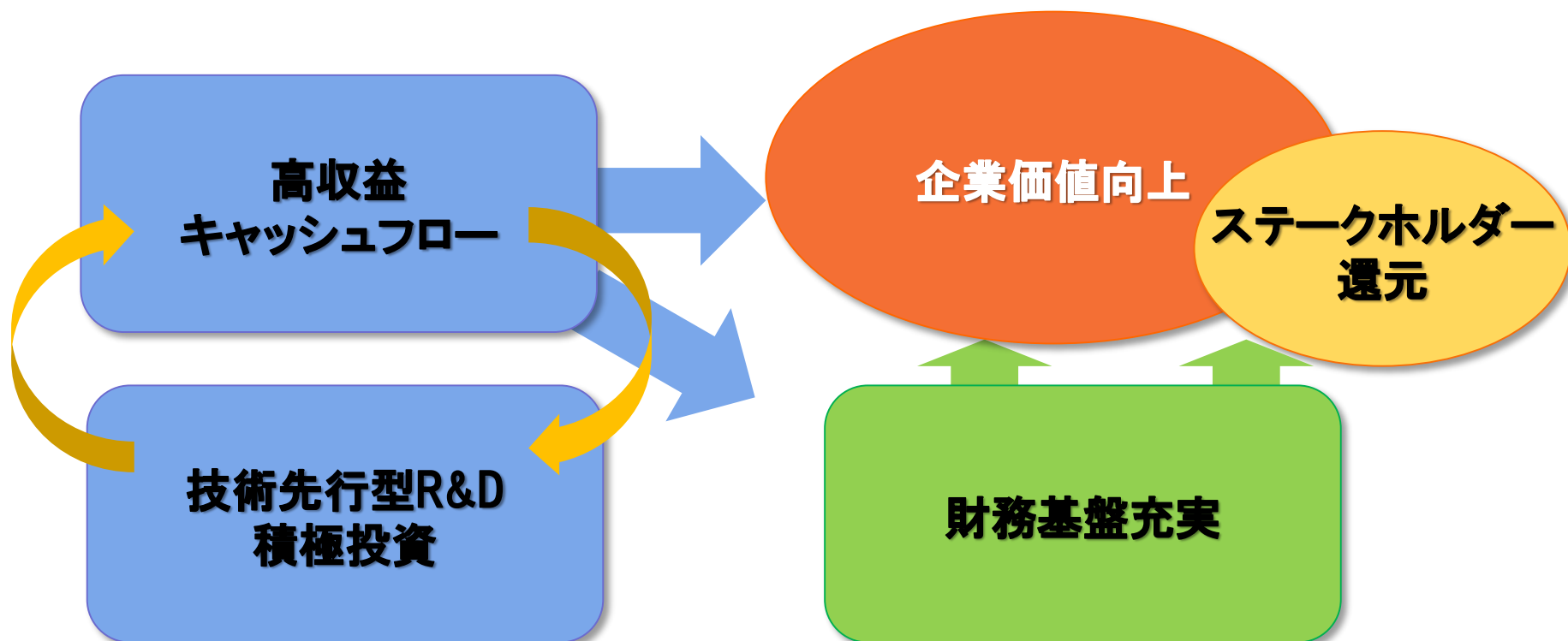
短期・中期・長期それぞれの期間に応じて領域・責任を明確にした、持続的な成長を可能とする製品開発体制の構築に取り組みます。



個別戦略(3) 経営基盤の強化①

田淵電機のキャッシュフロー経営

事業収益を技術先行型の先進技術へ積極的にR&D投資することで長期に亘る競争優位性を確立し企業価値を最大化します。



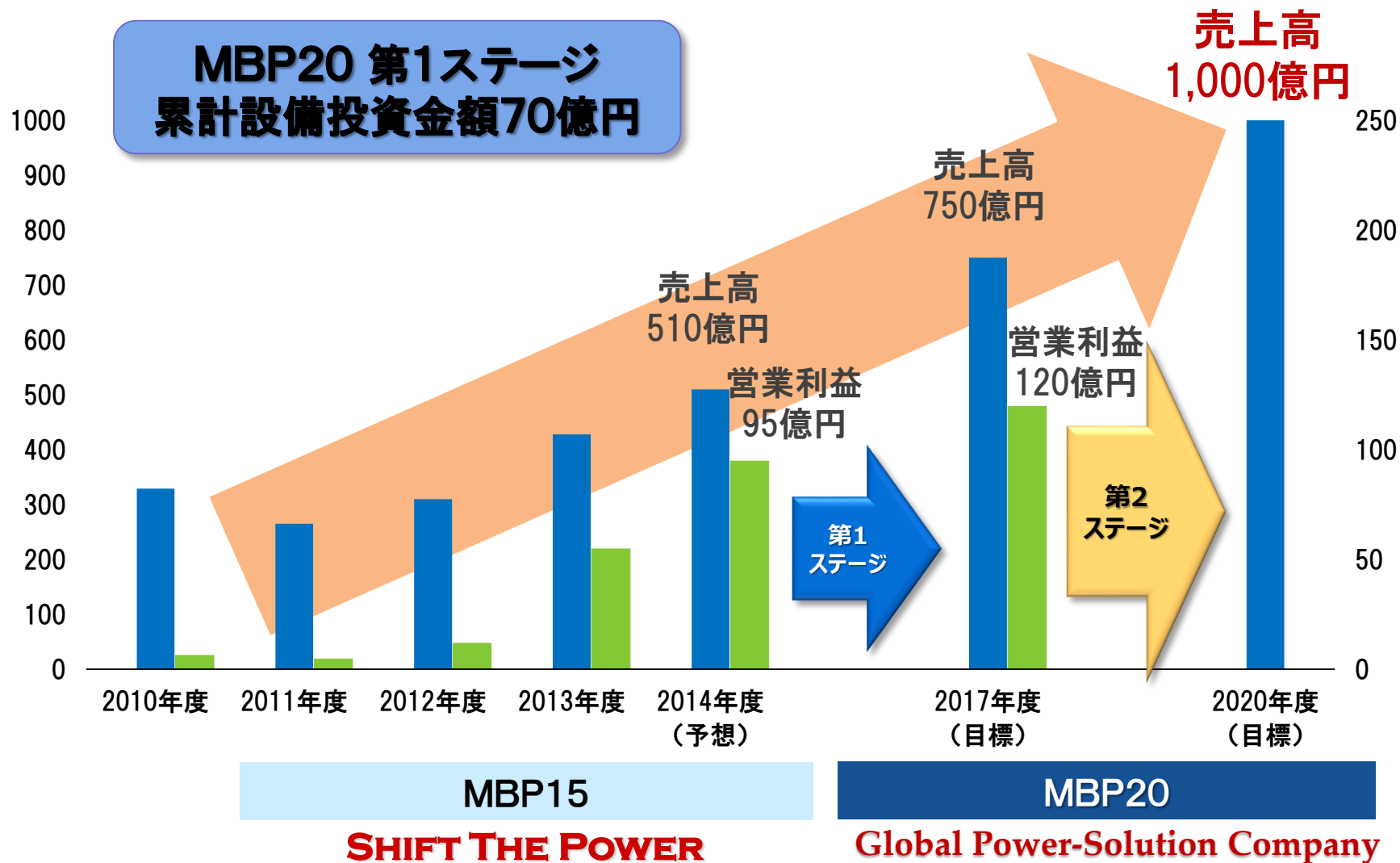
個別戦略(3) 経営基盤の強化②

目指すべき組織体制とブランド

事業領域の明確化、製品開発方針の明確化、収益目標を達成するために当社は人財を軸とした組織強化に断続的に取り組めます。



連結収益目標



お願い

当資料に記載されている、当社又はグループに関する見通し、方針、戦略等は、現時点での入手可能な情報に基づき、合理的と判断した前提のもと予測したものです。実際の業績は今後起こりうる様々な要因によって異なることがあるということをご理解ください。